

第1回菊池市総合計画策定審議会 議事録

I 概要

日時 令和3年1月25日(月) 13:30~15:40

場所 菊池市役所 本庁3階305大会議室

出席者 上野委員、古津委員、岩根(孝)委員、岩根(浩)委員、合志委員、松野委員
芹川委員、田中委員、坂田委員、工藤委員、加来委員、松永委員、最上委員
緒方委員、佐藤委員、飯塚委員、山口委員、北村委員、福田委員、中里委員

※欠席者 中村委員

菊池市 江頭市長

菊池市政策企画部 後藤部長、上野係長、井島参事、井芹参事

地方経済総合研究所 宮野、内藤(文責)

※以下敬称略

II 会次第

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

4 会長・副会長選任

5 議事

(1) 総合計画策定について

(2) 経過報告及び今後のスケジュールについて

(3) 市の現状について

(4) 第2次総合計画の現状と課題について

(5) 市民アンケート・市民ワークショップ等の結果について

(6) その他

6 閉会

Ⅲ 議事詳細

| 発言者 | 内 容 |
|------|---|
| | 1 開会 |
| | 2 委嘱状交付 |
| 江頭市長 | <p>3 市長挨拶</p> <p>総合計画とは様々な分野の計画の根幹。市全体のグランドデザインとなるもの。2022年度から8年の計画として、市長の任期に合わせることで市民との約束を果たしていく。前期基本計画4年、後期基本計画4年の8年がかりの計画となる。</p> <p>次期計画は専門分野を持つ委員の皆様から幅広く、市民目線の意見を頂戴しながら組み立てていく。計画で重要となるのは、市の未来のためにどのようなことができるかという視点。再来年度スタートする総合計画の準備段階として、計6回ある総合計画策定審議会で積極的な意見をいただきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症は本市でも罹患者が増加している。市職員も感染症対策に万全を期しているが、本市は罹患者が多い地域と生活圏が重複することから、足元で感染の危険性が高まっている。日々の生活についても新しい生活様式への留意を徹底してもらいたい。</p> <p>市の課題は山積している。市民が安心して生活を送ることができる、「癒しの里」の実現に向けて審議をお願いしたい。</p> |
| | <p>4 会長・副会長選任</p> <p>会長は上野氏、副会長に古津氏に決定。</p> |
| 会長 | <p>市長からもお話があった通り、第3次総合計画でこれから8年という長期の計画を立てるために委員の皆様のを借りたい。委員が21人と非常に多く、議論を進めていくのは大変だと思われる。皆さんの得意とする分野があると思うが、専門分野だけでなく、幅広い市民の目線で積極的に話をしてもらいたい。時間も限りがあるため、簡潔に意見を頂戴したい。</p> |
| 副会長 | <p>市長の言葉でもあったが、「癒しの里」を市民が実感することが大事。それぞれの立場で意見をいただきたい。</p> |
| 会長 | <p>5 議事（1）総合計画策定について （2）経過報告及び今後のスケジュール</p> <p>議事（1）総合計画策定について（2）経過報告及び今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>次期計画では、総合戦略と計画との関係を明記することで調和のとれた計画づくりをしていく。総合計画は基本構想となるまちづくりの理念や将来像、基本計画（前期・後期）、毎年度策定する実施計画で構成される。</p> <p>計画策定の基本方針は4つ。多様な市民の意見を反映した計画、社会情勢の変化に対応した計画、SDGsの視点を取り入れた計画、実効性のある計画。この審議会は単に要望の場ではなく、委員の皆様には将来のまちについて市民がワクワクするような次期総合計画になるよう、市民目線でのご意見をいただきたい。</p> |
| 会長 | <p>総合計画は市の最上位計画。市からの説明でもあった通り、国も総合戦略などで地方創生に関わる政策を策定し、自治体に求めてきた。社会から求められる様々な要請も勘案しながら8年にわたる計画を作り上げる。事前準備として、市が半年ほどかけ調査を実施している。これから1年間で、多岐に亘る議題を分割しながら議論を進めていきたい。総合計画は幅広い分野で横断的に施策を展開する必要があるが、注力する施策は自治体ごとに特徴がある。現行計画の評価についても、産業振興、暮らしなど好実績を上げている分野もあれば、さらに注力が必要な分野もある。更に、今後必要となる分野についても検討していく必要がある。例えば、次期計画において新型コロナウイルス感染症をどのように位置づけていくのかということなど。環境分野や、高齢化、公共交通分野等の生活に直結する部分に意見を出してもらいたい。</p> |
| 会長 | <p>5 議事（3）市の現状について （4）第2次総合計画の現状と課題</p> <p>5 議事（3）市の現状について、（4）第2次総合計画の現状と課題について、併せて事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>資料に基づき菊池市の人口動態、現状分析を説明。また、現行計画に基づいて現状と課題を整理。コロナ禍により社会情勢の変化が見込まれるので策定時に再度修正が必要。統計データの分析と、現行計画の課題分析、市民意見について皆様から質疑があればお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>学校教育の現場で問題となっているのが学習障害や発達障害の児童が全国的に増加していること。そこには食が大きく関わっているということが世界的な研究でわかっている。学校には給食があるので、是非食育の観点から学校給食を見直してもらいたい。海外から危険な食料が多く輸入され、それが外食産業やスーパーで利用、販</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>売されている。学校給食に一部使用されている。食は大人よりも子どもに与える影響の方が大きい。子どもたちへの影響は、子どもたちの次世代へも遺伝的に続いていく。これは大きな問題だと思う。</p> |
| 会長 | <p>食育や食の健康への影響は重要な観点。食育に関する視点は菊池市ではどの施策分野に入っているのか。</p> |
| 事務局 | <p>現行計画では「施策5 学校教育の充実」に学校給食に関することの記載はない。「施策3 農業の振興」の「施策の推進に向けて」の箇所に、安心・安全な農産物づくりと消費拡大の取り組みとして学校給食や地産地消について記載している。</p> |
| 委員 | <p>私は増加傾向にある不登校児の支援をしている。不登校児への理解と対策を進めているが、児童の祖父母の理解がないため、家庭内での衝突につながっている場合がある。引き続き、不登校児への理解を深める取り組みを実施していきたいと思っている。</p> |
| 委員 | <p>人口は合志市、菊陽町、大津町が増加している一方、菊池市は減少している。住む場所は菊池がいいという選ばれるまちづくりをしていく必要がある。市民が住みたいと思うのは安心・安全なまち、それに加え、若年層が地域に根付くような働く場所があるまちを作りたい。Iターン・Uターン増加への取り組みはコロナ禍だからこそ積極的に実施する必要がある。ワーケーションなどはチャンス。辛抱強く住みたいまちづくりの施策を考える必要がある。農業や観光が基本になると思うが、知恵を出していきたい。</p> |
| 委員 | <p>観光に関する施策があるが、観光協会でも同様に観光施策に取り組んでいる。コロナ禍で宿泊施設や小売店は厳しい経営が続くが、できることから実践するという視点で市民広場やビジターセンター、竜門ダムと連携を図り、動き始めた。これは観光客が菊池を素通りして阿蘇に行っている現状に危機感を覚えたから。現在は、課題解決に向け鞠智城のスタッフとも新たに連携を始めた。コロナ禍での対応については、旅行会社を交えて検討していこうと考えている。</p> |
| 会長 | <p>昨年1月まで期待されていたインバウンド誘客は、感染症により方針転換が必要になった。Go To トラベル事業もあるが、感染再拡大につながっている面もある。マイクロツーリズムに消費者の意向がシフトしているという話も聞く。熊本地震後の熊本県の復興戦略の1つで八代港の国際クルーズ拠点整備などによるインバウンド誘客があったが、コロナ禍で一度も使えていない状況である。このような中で令和4年度からの計画を策定することは難しい。今をどう</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>するのか、今後コロナのワクチンができた後どうなるのか、新しい生活様式や産業のあり方なども考える視点が必要であり、課題は山積している。次期計画においてもコロナ禍を克服できるシナリオ、できないシナリオで分ける必要があるかもしれないと感じている。</p> |
| 委員 | <p>総人口と人口ビジョンの位置づけ、総合計画との関係、2040年までとなっている根拠を教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>人口ビジョンは総合戦略に付帯するもの。地方創生の一環で人口減少をゆるやかにしようという計画。2040年までを掲載している根拠は2040年問題（「団塊ジュニア世代」が高齢化することで起きる問題）から、ひとつの区切りとしている。</p> |
| 委員 | <p>人口ビジョンは計画の中に指針として盛り込まれるという事は理解した。次期計画の中に人口増加に資する施策を入れるのか。また、市の現状で若年層が流出していることはわかるが、今後なぜそうなったのかの分析はしていくのか。</p> |
| 事務局 | <p>総合計画の中に、重点的に取り組んでいくものを総合戦略として位づける。人口減少対策や稼ぐ力をつけるなどの分野に特化した施策は総合戦略に盛り込んでいく。</p> |
| 委員 | <p>現状に対する分析は策定の中で示していった欲しい。若年層の流出は感覚的にはわかるが、転出・転入の原因がわかれば施策のエビデンスとなる。</p> |
| 会長 | <p>市民の視点で、なぜそうなったのかの分析をしていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>旭志地域では、有害鳥獣の被害が多発している。有害鳥獣の処理場を将来的に考える必要がある。</p> <p>旭志は畜産が盛んなので、食肉に関わる飲食店を集積させた「焼き肉街道」を作るといった構想も今後必要ではないか。畜産の発展や観光振興のためにも、そのような取組みを考えて欲しいと思う。</p> |
| 委員 | <p>コロナ禍の今、地方に住みたいという人が増えている。菊池市にも移住希望者がいるが、現状問題となっているのは移住希望者が空き家を購入する際、庭先に農地がついていると購入できない決まりがあること。菊池は農地2反、他の地域は5反以上農業をしていないと購入できない決まりとなっているので、農地面積の緩和が必要である。</p> |
| 会長 | <p>5 議事（5）市民アンケート、ワークショップ結果について</p> <p>5 議事（5）市民アンケート、ワークショップ結果について、事務局より説明をお願いします。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 資料により説明する。 |
| 委員 | アンケートやワークショップは市民の意見を取り入れるためのいい取り組みだと感じている。菊池市職員はどの程度参加したか数を把握しているか。 |
| 事務局 | アンケートは無作為抽出のため不明。ワークショップは総合計画専門部会に在籍する職員は全員参加した。全体で 30 名程度は参加している。 |
| 委員 | 市民アンケートの結果によると、SDGs は市民の 7 人に 1 人しか知らない状況。私は SDGs の考え方を市民に浸透させるための発信元は行政だと考えている。市職員の方が SDGs を知っている必要がある。職員の方にはぜひ SDGs のワークショップを受講してもらいたい。市民アンケートでは、菊池市を好きという人はある程度いるが、実際は菊池市から転出する人が多い。SDGs の考え方を踏まえた関係人口やパートナーシップという観点で、もっと真剣に取り組むべきことがあるのではないかと思う。 |
| 委員 | コロナ禍の逆境の中、空いた時間を人材育成に充てることを推奨したい。阿蘇では通訳案内士の養成教育をしているという新聞報道があった。菊池も自然や歴史など誇れるものは多数ある。菊池市が学習や発表の場を作ることで、情報発信力がある人材を育成し、市民が自然や歴史をアピールできるようになれば面白い。菊池市の魅力を発信するプロモーションビデオを作るのも良い。宮崎県小林市が地元の方言をフランス語に見立てた面白い動画を作成している。コロナ禍でも対応可能な、情報発信手段を増や必要性を感じる。また、観光や食育などの視点の 1 つとして、市民が作る子供食堂のような存在があればいいと思う。子ども食堂を経営している知人がいるが、一団体での経営には限界がある。例えば、余っている農作物を提供してくれる人がいたり、ボランティアで手伝いをしてくれる人などと、子どもたちが一緒に交流できる市民団体の食堂があればいいと思う。 |
| 会長 | 色々な視点が出たが、県の HP では県民総幸福量調査が閲覧できる。令和元年度で地域別にみると、菊池は幸福度が一番高い地域になっている。満足度が高い項目は「経済的な安定性」や「将来に不安がない」の分野。唯一「地域に誇りが無い」という分野が低い。市民アンケートでは市民の主観的な幸福度の分析も出しているが、県内各地域で比べると、菊池の満足度は高いことがわかる。趣旨が |

| | |
|-----|---|
| | 違うかもしれないが、市の相対的な位置を理解した上で議論するとより良くしたいという思いにつながると思う。 |
| 会長 | 6 議事（6）その他 6 議事（6）その他で事務局から何かあるか。 |
| 事務局 | 次回の審議会は3月26日（金）13：30からを予定。次回の内容は、総合計画基本構想の骨格・素案のイメージ図を提示する。委員の皆様から意見をいただき、イメージを固めていきたい。 |
| 会長 | 本日は時間の関係上、全員の意見を聞くことができなかったが、次回は全員から話を伺いたい。 |
| 事務局 | 6 閉会 本日は審議いただくというよりも市からの現状を知って頂く、説明が多くなった。次回からは活発な審議をお願いすることになる。以上をもって閉会する。 |